

| コード | 名称 | 区分 | コード | 名称 |
|-------------|-----------------------|--------------|------------------------|-----------------|
| 事業名 | 243 障害者職場実習モデル事業 | 会計 | 01 | 一般会計 |
| | | 款 | 03 | 民生費 |
| | | 項 | 01 | 社会福祉費 |
| 基本 施策 | 05 障がいのある人の自立した生活を支える | 目 | 04 | 障害福祉費 |
| | | 細目 | 193 | 障害者福祉一般事業 |
| 行革大綱の重点事項番号 | | 7 | 細々目 | 58 障害者職場実習モデル事業 |
| 担当部課 | コード | 130200 | 担当者 氏名 | 中出光美 |
| | 名称 | 健康福祉部 障がい福祉課 | | |
| | | 連絡先 | 22 - 9657 (内線) 2620 | |

事務事業の概要(Plan)

| | | |
|-----------------|--|-------|
| 対象(誰を、何を) | 一般就労を目指す身体・知的・精神に障がいのある人 | ※対象件数 |
| 成果(どうする) | 障がいのある人の一般就労への支援が図られる。 企業に対する啓発が図られる。 市役所職員の意識の向上が図られる。 | |
| 根拠法令・要綱等 | 障害者自立支援法 | |
| 開始年度 | 平成 19 年度 | 関連事業 |
| 終了年度 | 平成 年度 | |
| H21 事業 内容 | 一般就労を目指す身体・知的・精神に障がいのある人を実習生として市役所内で受け入れる。 受入条件 就労支援を行っている事業所に通所している者 当初、事業所の支援員等の付き添い支援が可能なる者 平成21年度実習受入者 6～10月 1名:精神障がい者 11～3月 1名:知的障がい者 | |
| 社会情勢 の変化等 | 市職員が障がいのある人と関わることにより、障がいに対する理解の促進が図られた。 | |

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

| | |
|------------------|----|
| 1 建設用地 | |
| 2 建設面積 (延床面積) | |
| 3 規模・構造 | |
| 4 総事業費 | 千円 |

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

| | |
|---------------|----|
| 1 運営主体 | |
| 委託先 | |
| 2 配置人員 | 人 |
| 3 年間運営費 | 千円 |
| 4 市内の 類似施設 | |

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動 指標 | 指標名 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|----------|-----|----|--------|-----|--------------|--------------|
| | | | H20 | H21 | H22 | H23 |
| | | | 受入実習生数 | 人 | 目標 2 実績 2 | 目標 2 実績 2 |

| 成果 指標 | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|----------|-----|----------|----|--------|----------|-----|--------------|
| | | | | H20 | H21 | H22 | H23 |
| | | | | 受入実習生数 | 受入実習生数の増 | 人 | 目標 2 実績 2 |

| 投入 コスト | H20 決算 | | H21 決算 | | H22 当初予算 | | H23 当初要求 | |
|----------------------------|--------|-------|--------|-------|----------|-------|----------|-------|
| | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | |
| 直接事業費計(A) | 583 | 516 | | | 871 | | 773 | |
| A の 財 源 内 訳 | 国庫支出金 | | | | | | | |
| | 県支出金 | | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | | |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 583 | 516 | | | 871 | | 773 | |
| 事業投入人件費(B) | 0.4人 | 2,880 | 0.4人 | 2,880 | 0.4人 | 2,880 | 0.4人 | 2,880 |
| フルコスト(A)+(B) | 3,463 | 3,396 | | | 3,751 | | 3,653 | |

事務事業の評価(Check)

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください) | | 備考欄(特記事項) | |
|------------------------------------|---|---|---|
| 必要性 | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 | 障がいのある人の就労を促進するため、市職員の障がい者に対する理解を深めるため本事業が必要である。 | |
| | 個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 | | |
| | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業 | | |
| | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 | | |
| | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 | | |
| | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 | | ○ |
| | 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 | | |
| | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業 | | |
| | 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 | | |
| | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 | | |
| 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 | | | |
| 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 | | | |
| 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 | | | |
| 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】 | | | |
| 有効性 | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。 | ○ 実習生を受け入れることにより、当事者の一般就労の促進が図られるとともに、市職員の意識向上が図られる。 | |
| 達成度 | 当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。 予算の繰越の有無 <input type="text" value="無"/> 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 <input type="text"/> | 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 | |
| 効率性 | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。 | | |

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

| | |
|--------------|--|
| 改善策 | 市ホームページや障がい者地域自立支援協議会就労部会などを通して、事業実績・効果を企業等に周知する。 |
| 昨年度の 取組状況 | 【状況】 <input type="text" value="計画のとおり進んでいる"/> 【詳細】 市ホームページや障がい者地域自立支援協議会就労部会などを通して、企業等に事業実績・効果の周知を行った。 |

今後の方向性(Action)

| | |
|--------------------------------------|--|
| 担当課長氏名 | 増田 政美 |
| 事業の方向性 | 【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/> |
| | 【理由】 障がいのある人の就労を促進するため、市職員の障がい者に対する理解を深めるため本事業の継続が必要である。 |
| 現時点における 課題、その他 | モデル事業としては一定の成果が得られたので、今後は新たな事業の展開を検討する必要がある。 |
| 課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする) | 平成23年度は「障がい者職場実習事業」とし、複数の障がい者で庁内の軽作業を請負うような形態をとることができないか等の今後の事業形態についての検討を行う。 |